

令和5年度 3Q・後期 授業時間割表(学部2~4年生)

※授業形態はシラバス及びBEEFも併せて確認してください。

Main table containing course schedules with columns for day, time, subject, instructor, and room. It is organized into blocks for 1st, 2nd, 3rd, 4th, and 5th periods.

時間割コード	科目名	教員	授業形態	教室	履修制限	日程
3L472	地域歴史遺産保全活用演習B	古市 晃	対面		◎	2月に実施
3L175/4L175	日本史特殊講義(a)/(b)	浜田 仁	対面		※	2月予定
3L473	芸術学各論	江口 正登	対面		※	
3L177/4L177	西洋美術史(a)/(b)					
3L474	美術史特殊講義	坂本 篤史	対面	B132	※	2月9.13.14.15日(予定)
3L475	比較造形文化論					
3L476	グローバル英語力強化演習Ⅱ	塚田 幸光	対面			未定
3L477	グローバル対話力演習	スズキ マチコ	遠隔(リ)			2月中旬(予定)
3L478	中国文学史	廣澤 裕介	対面		◇	未定
<p>(注1) 集中講義も履修登録期間中にうりぼーネットから履修登録すること。 なお、(a)(b)と書かれた科目は、必ず(a)(b)両方を登録すること。</p> <p>(注2) 文学部専門科目の集中講義日程は、確定次第、文学部事務室前の掲示板で通知します。</p> <p>(注3) 集中講義日程が他の履修科目と重複する場合は、どちらか一方しか履修できません。 他の科目と日程が重複した場合は、履修取消期間中に片方の履修を取り消すこと。</p>						

時間割コード	科目名	教員	備考
別紙参照	卒業論文	各指導教員	令和6年3月卒業予定の者は、左記科目を登録のうえ、令和5年11月15日(水)午後4時までに卒業論文の題目届を提出し、令和6年1月10日(水)午後4時までに卒業論文を提出しなければならない。 ※すでに卒業論文の題目を届け出たことがある者は、題目を変更する場合のみ卒業論文題目変更届の提出を要する。希望者は教務学生係に申し出ること。

<p><履修関係日程></p> <ul style="list-style-type: none"> 全学共通授業科目抽選登録期間： 9月11日(月)9:00～13日(水)12:00正午 高度教養科目抽選登録期間： 9月19日(火)17:00～21日(木)12:00正午 履修登録期間： 9月28日(木)9:00～10月16日(月)17:00 <p>抽選登録・履修登録は、3Q4Q後期の科目すべてを上記期間中に登録する必要があります。期間外に登録を行うことはできません。</p> <p>・履修取消期間： 第3Q・後期開講科目 10月17日(火)0:00～23日(月)23:59 第4Q開講科目 12月18日(月)0:00～24日(日)23:59</p> <p>・後期授業開始： 10月2日(月)～</p> <p><文学部開講科目に関する注意事項></p> <p>※(a)(b)の付いた授業科目については(一部の高度教養科目を除き)3Qのみ、4Qのみの履修は認められません。 必ず(a)(b)セットで履修登録、受講してください。 ※3Qで(a)を履修取消した場合は、必ず4Qの履修取消期間に(b)も取り消すこと。 なお、4Qで(b)のみを履修取消した場合は3Qの(a)は取り消されず「不可」となる。</p> <p>※履修する科目をうりぼーネットで履修登録した後は、PDF出力し各自で保管すること。 ※時間割は変更になる可能性があるため、文学部事務室前の掲示板を確認すること。</p> <p>他、不明点等は必ず事前に文学部教務学生係まで問い合わせること。</p>

履修制限について

- 履修制限欄に何も記入されていない科目は、**(a)(b)両方を履修する場合に限り**他学部生も履修可能な科目です。(ただし、高度教養科目(抽選登録)はこれに限りません。)
- 履修制限のある科目で、資格取得のために文学部開講科目を履修する必要がある場合は、**履修登録期間中に「履修許可申請書」を提出する必要があります。**
- なお、大学院生が資格取得のために学部の科目を履修する場合も同様に**履修登録期間中に「履修申請許可書」を提出する必要があります。**(うりぼーネットでは登録できません。)
- 履修許可申請書は、文学部教務学生係で配布します。**授業担当教員の許可を得た上で、必ず履修登録期間内に**文学部教務学生係窓口へ提出してください。
- 時間割表の履修制限欄に記載されているマークについては以下を参照してください。
- ※・・・文学部の学生に限る。ただし、「英会話」及び「英作文」、「自然地理学」、「地誌」については、教員免許取得希望者に限り履修を認める。(履修許可書不要、必ず(a)(b)両方を履修すること。)
 - ・・・文学部の各専修所属学生に限る。
 - ◇・・・文学部の学生及び国際文化学部、発達科学部、国際人間科学部の教員免許取得希望者に限る。(履修許可書不要、必ず(a)(b)両方を履修すること。)
 - ◎・・・文学部の学生及び国際文化学部、発達科学部、国際人間科学部、理学部の学芸員資格取得希望者に限る。(履修許可書不要、必ず(a)(b)両方を履修すること。)

履修に関する注意事項

- (時間割コード及び授業形態の表記について)
- ・時間割コード: 赤字・・・セメスター科目 ・ 黒字・・・クォーター科目のセメスター的運用科目
 - ・授業形態: ハイ(対)・・・ハイブリッド型(対面≧遠隔) ・ ハイ(遠)・・・ハイブリッド型(遠隔≧対面)
 - 遠隔(リ)・・・リアルタイム型 ・ 遠隔(オ)・・・オンデマンド型

- ・事前に入学年度の学生便覧で卒業要件科目及び各科目の単位数を確認し、間違いのないよう履修すること。
- ・年間の履修上限単位数(54単位)を超えて履修登録することはできない。ただし、履修上限除外許可者については、後期の履修登録時に上限を超えた分の科目(文学部専門科目)を教務学生係で登録するので申し出ること。
- ・履修登録期間外には、履修科目の追加、変更、削除等は一切認められない。年間の履修計画を立てた上で履修登録を行うこと。
- ・履修登録期間内にうりぼーネットから登録を行い、完了後は履修科目一覧をPDF出力し各自保管すること。

資格免許取得に関する科目について

修得しなければならない科目及び単位数の詳細については、入学年度の学生便覧等で必ず確認してください。

教育実習及び博物館実習の履修について

- ・教育実習(事前事後指導を含む)及び博物館実習A、B、Cについては、うりぼーネットで履修登録する必要はない。
- ・教育実習については、事前指導、本実習、事後指導を全て終え合格の評価を得た学生に対し、事前事後指導(1単位)及び教育実習(中学校の場合は4単位、高等学校の場合は2単位)が登録される。単位は、実習に行った年度の後期に登録される。
- ・博物館実習Aについては、指定の期間に各担当教員へ履修申請を行う。博物館実習B、Cは、指定の期間に教務学生係へ履修申請を行う。
 Aの履修申請については前期の時間割表を参照すること。4年次(修士2年次)に履修するB、Cの履修申請については、3年次(修士1年次)の10月に掲示で知らせるので、申請忘れのないよう注意すること。
- ・博物館実習A、B、Cを全て終え合格の評価を得た学生に対し、博物館実習(3単位)が登録される。単位は、実習Cを行った年度の後期に登録される。